

社会資本総合整備計画

平成28年 3月18日

計画の名称	十和田市の下水道における防災・安全対策の実現				重点計画の該当	
計画の期間	平成28年度 ~ 平成32年度 (5年間)	交付対象	十和田市			
計画の目標						

大規模地震時において下水道が有すべき機能の必要性や緊急性から、緊急的に耐震性の向上を図るべき施設について耐震化を実施することにより、下水道としての基本的機能の確保を図る。

計画の成果目標 (定量的指標)

- ・処理場における改築更新の達成率を1.9% (H28) から17.3% (H32) に増加させる。

定量的指標の定義及び算定式

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (H32末)	
	改築更新の達成率 改築更新済みの施設及び設備 (箇所) / 改築更新を行うべき施設及び設備 (箇所)	1.9%	9.6%	

全体事業費	合計 (A+B+C)	1,952百万円	A	1,952百万円	B	-	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合	0.0%
-------	---------------	----------	---	----------	---	---	---	------	---	------	------------	------

交付対象事業

A 下水道事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	個別施設計画 策定状況	備考
											H28	H29	H30	H31	H32			
A-1	下水道	一般	十和田市	直接	-	水セ	改築	処理場	消化槽 (機械・電気 N=1式)	十和田市						460	策定済	長寿命化
A-2	下水道	一般	十和田市	直接	-	水セ	改築	処理場	管理棟本館改修	十和田市						625	未策定	
A-3	下水道	一般	十和田市	直接	-	水セ	改築	処理場	浮上濃縮棟改修	十和田市						431	未策定	
A-4	下水道	一般	十和田市	直接	-	水セ	改築	処理場	ガスホルダー改修	十和田市						270	未策定	
A-5	下水道	一般	十和田市	直接	-	水セ	全種	調査・設計等	ストックマネジメント計画等	十和田市						166	-	
小計 (下水道事業)												1,952	-					

C 効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H28	H29	H30	H31	H32			
小計																	

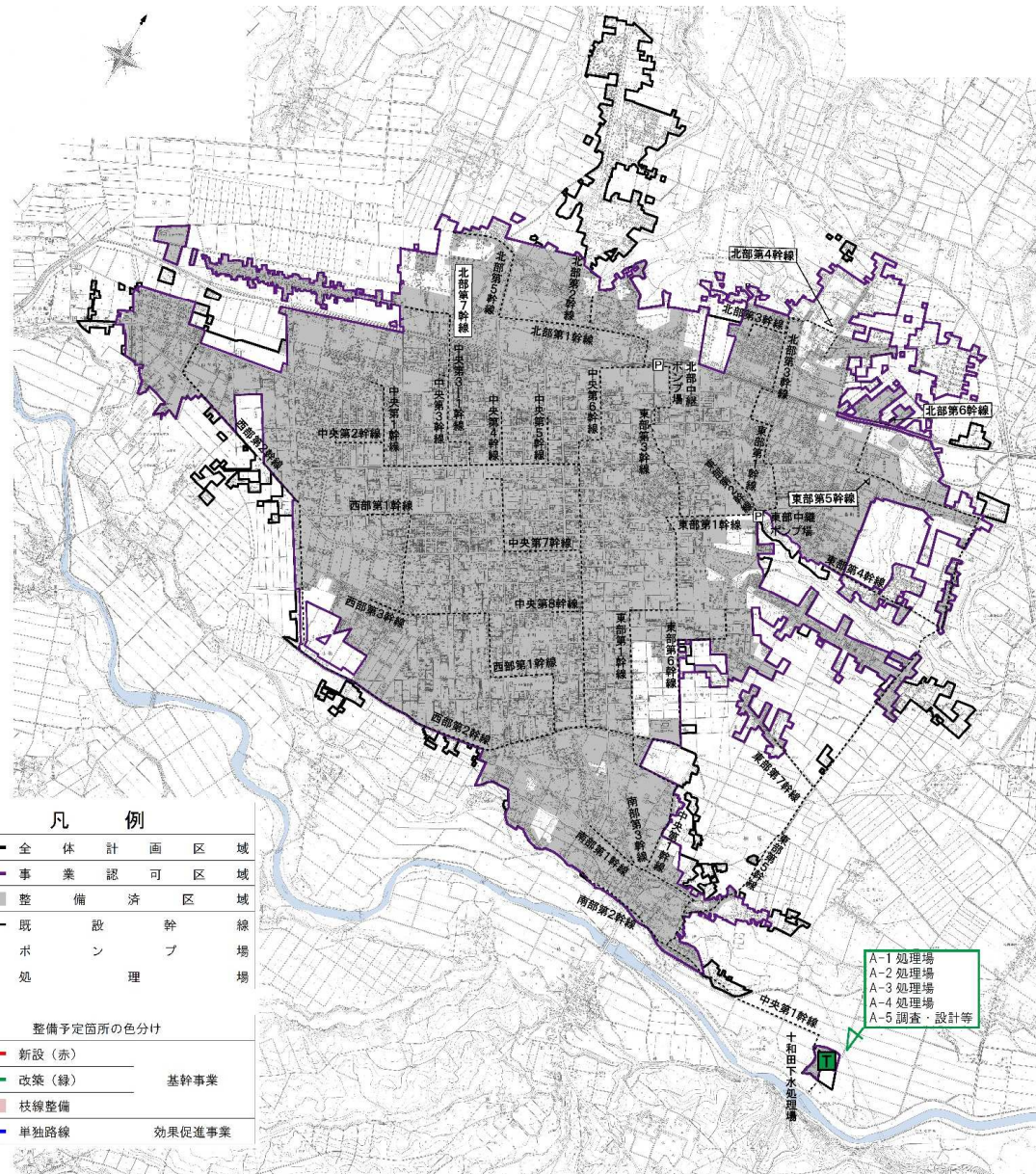
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H28	H29	H30	H31	H32		

番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考

計画の名称	十和田市の下水道における防災・安全対策の実現		
計画の期間	平成28年度 ~ 平成32年度 (5年間)	交付対象	十和田市



凡 例	
	全 体 計 画 区 域
	事 業 認 可 区 域
	整 備 済 区 域
	既 設 幹 線
	ポ ン プ 場
	処 理 場
整備予定箇所の色分け	
	新設 (赤)
	改築 (緑) 基幹事業
	枝線整備
	単独路線 効果促進事業

- A-1 処理場
- A-2 処理場
- A-3 処理場
- A-4 処理場
- A-5 調査・設計等

社会資本整備総合交付金 チェックシート

計画名称 十和田市の下水道における防災・安全対策の実現

都道府県名 青森県十和田市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	○
・下水道事業計画に基づく施設整備は概成しており、今後は効率的な管理・運営を図ることとしているものであり上位計画との整合性はとれている。	
②地域課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の整合性)	○
・効率的な管理・運営と地域住民の生活環境の改善及び公共用水域の水質保全を目的とした処理場における長寿命化計画の目標を立てている。	
II. 計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
・長寿命化計画の目標達成に向けた定量的指標を設定している。	
②定量的指標の明瞭性	○
・定量的指標は処理場における長寿命化対策状況を的確に捉えており、効率的な管理・運営に適した指標である。	
③目標と事業内容の整合性	○
・事業内容は効率的な下水道施設の管理・運営に係わる事業としており、計画の目標と整合している。	
④事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性	○
・基幹事業の長寿命化対策等により、施設の安全な管理・運営を図ることができる。	
III. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成などを踏まえた事業実施の確実性)	○
・地域毎に住民説明を行い、下水道事業計画に対する理解・協力を得て事業執行を図っている。	
②地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性)	○
・他事業である集落排水事業、合併浄化槽事業と連携し、市全体の汚水処理施設整備の促進を図り、早期の汚水処理人口普及率の向上を目指すこととしている。	